

## MULTI-PACK PACKAGE

um. US 5,947,296

Publication number: JP11130132

Publication date: 1999-05-18

Inventor: CASTORA VALERIE MICHELE

Applicant: SCHNEIDER NAMIC

Classification:

- international: B65D75/46; A61B19/02; A61M25/00; B65D75/00;  
A61B19/00; A61M25/00; (IPC1-7): B65D75/46;  
A61B19/02

- european: A61B19/02P; A61M25/00P

Application number: JP19980165636 19980612

Priority number(s): US19970961172 19971030

Also published as:



EP0913164 (A1)

US5947296 (A1)

EP0913164 (B1)

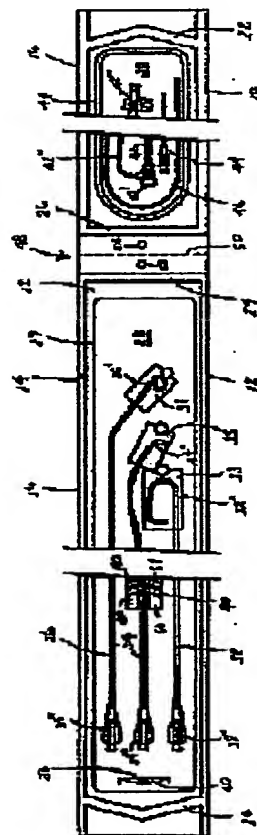
CA2241432 (C)

Report a data error here

### Abstract of JP11130132

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a separable package in which influence caused by one pouch to the other pouch under opening of the package can be eliminated and a combination of the pouches can be freely set.

**SOLUTION:** This package 10 is used for storing a medical instrument in pouches 28, 20 packed and divided from each other in a continuous strip. Each of the pouches 28, 30 is spaced apart from each other along the strip and each of the pouches 28, 30 is kept under sterilized state until each of the pouches is opened. Each of the pouches can be separated, while each pouch is kept aseptic. In addition, one pouch can be opened without impairing completeness of the structure and sanitation of other pouches. Each of the pouches 28, 30 can be opened independently, and they can be stored in a connected state, or in a single form.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-130132

(43) 公開日 平成11年(1999) 5月18日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

B 6 5 D 75/46

A 6 1 B 19/02

識別記号

F I

B 6 5 D 75/46

A 6 1 B 19/02

審査請求 未請求 請求項の数23 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平10-165636

(22) 出願日 平成10年(1998) 6月12日

(31) 優先権主張番号 9 6 1, 1 7 2

(32) 優先日 1997年10月30日

(33) 優先権主張国 米国 (U S)

(71) 出願人 598056722

シュナイダー／ナミック

アメリカ合衆国・ニューヨーク・12801・

グレンス・フォールズ・ブルーインズ・ア

일랜드 (番地なし)

(72) 発明者 ヴァラリー・マイケル・カストーラ

アメリカ合衆国・ニューヨーク・12804-

9161・クイーンズベリー・クイーン・ア

ン・コート・56

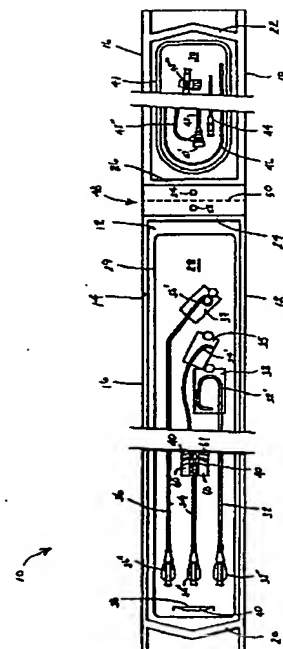
(74) 代理人 弁理士 志賀 正武 (外 9 名)

(54) 【発明の名称】 マルチパック・パッケージ

(57) 【要約】

【課題】 開封により一方のパウチが他方のパウチに与える影響をなくことができ、パウチの組み合わせを自由にできるように分離できるパッケージを提供することを目的とする。

【解決手段】 連続的なストリップ内に互いに包装され、区画されたパウチ 28, 30 内に医療用器具を収納するためのパッケージ 10 である。各パウチ 28, 30 は、ストリップに沿って互いに間隔が空けられ、各パウチ 28, 30 は開封されるまで無菌状態が維持される。各パウチ 28, 30 は、各パウチ 28, 30 の無菌性を維持したままで、互いに分離することができる。また他のパウチの構造上及び衛生上の完全性を損なうことなく、一方のパウチを開封することができる。各パウチ 28, 30 は独立して開封することができ、接続した状態でまたは単体で保管することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 実質的に同一の広がりを持つ第一の材料層および第二の材料層とを備え、これら各層が、第一の長手方向エッジ及び第一の交差方向エッジと第二の長手方向エッジ及び第二の交差方向エッジとを有してなる医療用器具のためのパッケージであって、

前記各層が前記エッジ近傍で互いにシールされてなり、第一の交差方向余白部と第二の交差方向余白部とが、互いに離間されて、前記第一の交差方向エッジと前記第二の交差方向エッジとの中間に配置されており、前記各交差方向余白部によって、前記双方の層同士を結合するシール部が形成されており、これにより、少なくとも一つの医療用器具を収納する第一及び第二の密閉パウチが形成されていることを特徴とするパッケージ。

【請求項2】 前記第一のパウチ及び前記第二のパウチのいずれか一方が、導入ワイヤを収納していることを特徴とする請求項1記載のパッケージ。

【請求項3】 前記第一のパウチ及び前記第二のパウチのいずれか一方が、導入シース及び拡張器を収納していることを特徴とする請求項1記載のパッケージ。

【請求項4】 前記第一のパウチ及び前記第二のパウチのいずれか一方が、少なくとも一つのカテーテルを収納していることを特徴とする請求項3記載のパッケージ。

【請求項5】 前記第一のパウチ及び前記第二のパウチのいずれか一方が、さらに少なくとも一つガイドワイヤを含んでいることを特徴とする請求項4記載のパッケージ。

【請求項6】 前記第一のパウチ及び前記第二のパウチのいずれか一方が、カードを収納し、かつ前記カードの第一の側に少なくとも一つのカテーテルが取り付けられていることを特徴とする請求項3記載のパッケージ。

【請求項7】 さらに少なくとも一つガイドワイヤと、前記ガイドワイヤを前記カードの第二の側に取り付けるための手段とを含んでいることを特徴とする請求項6記載のパッケージ。

【請求項8】 前記手段は、前記ガイドワイヤを前記カードに結合させる少なくとも一つのタブであることを特徴とする請求項7記載のパッケージ。

【請求項9】 前記手段は、さらに前記ガイドワイヤを前記カードに結合させる少なくとも一つのフラップを含んでいることを特徴とする請求項8記載のパッケージ。

【請求項10】 所定の配置に前記ガイドワイヤを維持するために、前記ガイドワイヤの少なくとも一部分を囲む大きさ及び形状とされたスリーブをさらに含んでいることを特徴とする請求項7記載のパッケージ。

【請求項11】 所定の配置に前記ガイドワイヤを維持するために、一つ以上のクリップをさらに含んでいることを特徴とする請求項7記載のパッケージ。

【請求項12】 前記ガイドワイヤを取り囲むチューブをさらに含んでいることを特徴とする請求項7記載のパ

ッケージ。

【請求項13】 各パウチの完全性を維持したままで、前記各パウチを分離するための手段をさらに含んでいることを特徴とする請求項1記載のパッケージ。

【請求項14】 前記手段は、前記余白部に交差方向に配置された前記層の穿孔であることを特徴とする請求項13記載のパッケージ。

【請求項15】 前記手段は、前記余白部に交差方向に配置された前記層のミシン目であることを特徴とする請求項13記載のパッケージ。

【請求項16】 前記パウチを保管するために形成された、前記余白部に配置された複数の開口部を更に含んでいることを特徴とする請求項1記載のパッケージ。

【請求項17】 第一の長手方向エッジ及び第二の長手方向エッジと第一の交差方向エッジ及び第二の交差方向エッジとを有する第一の層と、第一の長手方向エッジ及び第二の長手方向エッジと第一の交差方向エッジ及び第二の交差方向エッジとを有する第二の層と、を具備する医療用器具のためのパッケージにおいて、

前記各層は、一方の層が他方の層の上に重ねられ、前記エッジで互いにシールされており、少なくとも二つの交差方向余白部は互いに離間され、重ねられた前記層の前記第一の交差方向エッジと前記第二の交差方向エッジの中間に配置されており、少なくとも二つの前記各交差方向余白部により、前記余白部に沿って前記双方の層同士を結合するシール部が形成されており、これにより、少なくとも一つの医療用器具を収納する第一及び第二の密閉パウチが形成されていることを特徴とするパッケージ。

【請求項18】 第一の端部と第二の端部とを具備する医療用器具のためのパッケージにおいて、中間の部分により離間された第一の端部と第二の端部とを備え、

前記第一の端部が第一のパウチを形成するために第一の端部周辺でシールされ、

前記第二の端部が第二のパウチを形成するために第二の端部周辺でシールされ、

前記第一のパウチと前記第二のパウチのうちの一方が導入シースと拡張器とを受け入れるように形成され、

前記第一のパウチと前記第二のパウチのうちの他方がカテーテルを受け入れるように形成されていることを特徴とするパッケージ。

【請求項19】 前記第一のパウチと前記第二のパウチのいずれか一方が、さらにガイドワイヤを受け入れるように形成されていることを特徴とする請求項18記載のパッケージ。

【請求項20】 第一の部分と第二の部分とを備える血管造影キットにおいて、

前記第一の部分と前記第二の部分とが、中間の部分により離間されており、

前記第一の部分が第一のパウチを形成するために第一の部分の周辺でシールされており、前記第二の部分が第二のパウチを形成するために第二の部分の周辺でシールされており、

前記第一のパウチと前記第二のパウチの一方が、導入シースと拡張器とを受け入れるよう形成され、前記第一のパウチと前記第二のパウチの他方が、複数のカテーテルとガイドワイヤとを受け入れるように形成されていることを特徴とするパッケージ。

【請求項 2 1】複数の前記カテーテルが、左冠状動脈カテーテルと右冠状動脈とビッグテイル・カテーテルとを含んでいることを特徴とする請求項 2 0 記載のキット。

【請求項 2 2】 第一の部分と第二の部分とを備える血管造影キットにおいて、

前記第一の部分と前記第二の部分とが、中間の部分により離間されており、

前記第一の部分が第一のパウチを形成するために第一の部分の周辺でシールされており、前記第二の部分が第二のパウチを形成するために第二の部分の周辺でシールされており、

前記第一のパウチと前記第二のパウチの一方が、導入シースと拡張器とを受け入れるよう形成され、前記第一のパウチと前記第二のパウチの他方が、カードの第一の側に取り付けられた複数のカテーテルと前記カードの第二の側に取り付けられたガイドワイヤとを受け入れるように形成されていることを特徴とするパッケージ。

【請求項 2 3】 複数の前記カテーテルが、左冠状動脈カテーテルと右冠状動脈カテーテルとビッグテイル・カテーテルとを含んでいることを特徴とする請求項 2 2 記載のキット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、一般に医療器具用パッケージに関するものである。特に、本発明は、互いに連続したストリップ状態で包装された分離した無菌パウチ (sterile pouches) 内に医療器具を収納することに関するものである。この構成は、一方のパウチの完全性を損なうことなく他方のパウチを開封できるようにするものである。前記パウチは、製造時の形態、または連結した形態、あるいは分離した別々の形態で保管することができる。

【0002】

【従来の技術】歴史的には、医療用製品を収納するためのマルチパック・パッケージが市場には存在している。そのような製品の一例としては、血管造影用三種カテーテルパック (angiographic catheter tri-pack) が挙げられる。このパックは、左冠状動脈 (left coronary) カテーテルと、右冠状動脈 (right coronary) カテーテルと、ビッグテイル (pigtail) ・カテーテルを含む。これら 3 つのカテーテルは、通常血管造影手法で使用さ

れるものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】近年、上述の三種パック・パッケージのような血管造影用の医療用器具は、カテーテル導入シースや血管造影ガイドワイヤと共に、マルチパック・キットとして包装されている。しかしながら、現在市場に出ているキットの構成には本来的な欠陥がある。その欠陥は主に、器具を使用する者に対して柔軟性に欠けるということである。血管造影マルチパックの構成要素は、通常一つの無菌パッケージ内に一緒に包装されている。この構成は、すべての製品が同じ処置で使用されるという場合には受け入れられるであろう。しかしながら、このような場合ではない時もある。もし、製品のいくつかがその特定の処置で使用されないならば、使用されない製品は、一度パッケージが開封されると製品は無菌ではなくなるので、不適当な製品として廃棄される。他にも市場で売られている包装された医療器具製品がある。その製品では、二つのパウチを互いにカードボード・シュラウド (cardboard shroud) で留めることで、無菌バリアは維持されるが、包装する材料を余分に使用すること、及び収納に不便なことといった困難な点が存在する。

【0004】前記パッケージの有する全ての欠点は、本発明により解決される。特に、本発明は、医療用器具に対する改良したパッケージを提供する。このパッケージは、現在使用されているパッケージに対する改良点を提供している。よって、本発明のマルチパック・パッケージによれば、特に血管造影手法用パッケージに対して、カテーテルとガイドワイヤの組みを別個の無菌の区画内でシースから分離することによって、一方の中身の無菌性及び有用性を犠牲にすることなく、他方の区画の中身を使用することができる。これは、本発明による一体形パウチにより達成される。例えば、もし医師が本発明のパッケージの一方の区画内に収納されているカテーテルとガイドワイヤを使用しながらも、何らかの理由により（おそらく、別の大きさのシースが好ましいと判断して）本発明のパッケージの他方の区画内に収納されたシースを使用しないならば、医者はカテーテルとガイドワイヤを収納している区画を開封することができ、かつその無菌パウチ内のシースをそのままの状態にすることができる。これによって、シースのパウチが離間状態にあることができ、後日使用するために倉庫に戻すことができるようになる。このことは、周知の包装医療用製品では不可能であろう。

【0005】本発明のマルチパック・パッケージは、製品間に分離状態の無菌バリアを維持できるようにするものであるが、しかもこれを、パッケージを一体形のものとしたままで実現するものである。このことは、パウチの長さ方向に沿って連続的にシールし、かつパウチ間をシールすることにより、パウチ製造過程で達成される。

各パウチは、比較的長いカテーテル及びガイドワイヤとそれよりも短いシースとのために分離された各区画を形成するよう長さの異なるものであってもよい。各区画間の間隔は、ミシン目、及び間隔内のミシン目のいずれかの側でのシールにより維持される。加えて、シールされない領域内でのミシン目のいずれかの側に孔が開けられてもよい。

【0006】ミシン目または穿孔を有する構成により、ユーザは二つの隣接した区画を強度的に弱い部分で互いに折り畳むことができる。孔を有する構成のものでは、パッケージを折り畳んだときに、パッケージを便利にもラックに掛けることができるように、複数の孔が並んで空けられている。使用者はまた、ミシン目の場所でパウチを分離して、製品を別々に保管することもできる。これにより使用者は、未使用製品の無菌バリアを壊す心配をせずに、使用者が望む任意の組み合わせで製品を使える。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、実質的に同一の広がりを持つ第一の材料層および第二の材料層とを備え、これら各層は、第一の長手方向エッジ及び第一の交差方向エッジと第二の長手方向エッジ及び第二の交差方向エッジとを有してなる医療用器具のためのパッケージである。前記各層がエッジ近傍で互いにシールされている。また、第一の交差方向余白部と第二の交差方向余白部とが、互いが離間されて、第一の交差方向エッジと第二の交差方向エッジとの間に配置されている。前記各交差方向余白部によって、各層同士を結合するシール部が形成されており、これにより、少なくとも一つの医療用器具を収納する第一及び第二の密閉パウチが形成されている。

【0008】このパッケージは、一方のパウチが、一つまたは一つ以上のカテーテルを収納に対し、他方のパウチ内に導入シースと拡張器とを収納するような大きさや形状とされることが好ましい。他方のパウチは、さらに導入ワイヤを含むことがある。さらに一方のパウチが、一つまたは一つ以上のカテーテルに加えて、少なくとも一つのガイドワイヤを含むことが好ましい。

【0009】このパッケージは、一つまたは一つ以上のカテーテルをカードの一面側に取り付けるためのカードを含むことが好ましく、ガイドワイヤをカードの他面側に取り付けるカードを含むことが好ましい。一つの実施の形態では、ガイドワイヤは、チューブに包まれたり、チューブ内に囲まれている。ガイドワイヤの取り付けや配置は、ガイドワイヤを保持し、位置づけるために相互作用する一つまたは一つ以上のタブやフラップやクリップを用いて達成される。スリーブが含められることが好ましく、ガイドワイヤの保持及び位置決めの際に便利な大きさ及び形状とされても良い。

【0010】パッケージは、さらに各パウチの無菌状態

を維持する一方で、パウチ分離部を備えることが好ましい。パウチ分離部は、各余白部間の各層の交差方向の穿孔、または各余白部間の各層の交差方向のミシン目のいずれかにより達成される。パッケージは、さらに各余白部間に位置し分離状態でまたは結合状態で各パウチを保管するように形成された開口部を含むことが好ましい。

【0011】本発明は、さらに第一の長手方向エッジ及び第二の長手方向エッジと第一の交差方向エッジ及び第二の交差方向エッジとを有する第一の層と、第一の長手方向エッジ及び第二の長手方向エッジと第一の交差方向エッジ及び第二の交差方向エッジとを有する第二の層とを具備する医療用器具のためのパッケージを実現している。各層は、一方の層が他方の層の上に重なり、各エッジで互いにシールされている。少なくとも二つの交差方向余白部は互いに離間され、各交差方向エッジ間の間に配置されている。各交差方向余白部に沿って各層を互いに結合するシール部が形成されており、これにより少なくとも一つの医療用器具をそれぞれ収納するようにした第一及び第二の密閉パウチが形成されている。

【0012】本発明は、第一の端部と第二の端部とを備える医療用器具のためのパッケージを実現しており、中間部で分離される第一の端部と第二の端部とを備え、第一のパウチを形成するために第一の端部周辺でシールされている第一の端部を備え、第二のパウチを形成するために第二の端部周辺でシールされている第二の端部を備え、一方のパウチが導入シース及び拡張器を受け入れるように形成され、他方のパウチがカテーテルを受け入れるように形成されている。実施の形態では、一方のパウチが、さらにガイドワイヤを受け入れるように形成されていることが好ましい。

【0013】他の実施の形態では、本発明は、第一の部分と第二の部分とを備える血管造影キットを包含し、第一の部分と第二の部分とが中間の部分で分離され、第一の部分は第一のパウチを形成するために第一の部分周辺でシールされており、第二の部分は第二のパウチを形成するために第二の部分周辺でシールされており、一方のパウチが導入シースと拡張器とを受け入れるように形成されており、他方のパウチが一つ以上のカテーテルとガイドワイヤとを受け入れるように形成されている。カテーテルは、少なくとも左冠動脈カテーテル、右冠動脈カテーテル、ビッグテイル・カテーテルであることが好ましい。

【0014】さらに他の実施の形態では、本発明は、第一の部分と第二の部分とを備える血管造影キットを含み、第一の部分と第二の部分とが中間の部分により分離され、第一の部分は第一のパウチを形成するために第一の部分周辺でシールされており、第二の部分は第二のパウチを形成するために第二の部分周辺でシールされており、第一のパウチと第二のパウチのうち一方が、導入シースと拡張器とを受け入れるように形成されており、第

一のパウチと第二のパウチのうち他方が、カードの一面側に取り付けられた複数のカテーテルと、カードの他面側に取り付けられたガイドワイヤとを受け入れるように形成されている。複数のカテーテルは、左冠状動脈カテーテル、右冠状動脈カテーテル、ビッグテイル・カテーテルを含むことが好ましい。

#### 【0015】

【発明の実施の形態】図1は、本発明の原理に対応したマルチパッケージの実施の形態の概略部分平面図であって、第一のパウチ内に、左冠状動脈カテーテル、右冠状動脈カテーテル、ビッグテイル・カテーテルの血管造影用三種カテーテルパックを示し、第二のパウチ内に、カテーテル導入シース、拡張器、導入ワイヤを示している。図2は、図1に示した左側のパウチの収納物の概略拡大平面図であり、カードに取り付けられたカテーテルを示したものである。図3は、図2に示したカードの縮小下面図であって、カードに取り付けられたガイドワイヤを示したものである。図4は、図2に示した取付カードを、カテーテルが取り付けられていない状態で示した縮小平面図である。図5は、図4に示した取付カードを、ガイドワイヤが取り付けられていない状態で示した縮小平面図である。

【0016】以下、図面を参照して、本発明を詳細に説明する。図面において、複数の図面を通して、同一構成要素には同一符号が付される。図1を参照すると、本発明の原理による、マルチパック医療用パッケージ10の第一の実施の形態の部分（短縮した）概略図が図示されている。パッケージ10は、第一の層12（上面）と第二の層14（下面）とを含む。これらの層は実質的に同一の広がりをも有し、長手方向エッジ16、18と交差方向エッジ20、22を有する。パッケージ10は、さらに第一の余白部24及び第二の余白部26を含んでいる。層12はポリエチレンとポリエステルとのラミネートであることが好ましく、層14はスパンボンドされたポリオレフィン（spun bonded polyolefin）であることが好ましい。層12、14は長手方向エッジ16、18、交差方向エッジ20、22と余白部24、26とについて従来の方法で加熱圧縮によりシールされて、第一のパウチ28と第二のパウチ30とを形成し、各パウチ内に少なくとも一つの医療用器具を収納する。

【0017】左冠状動脈カテーテル32と右冠状動脈カテーテル34とビッグテイル・カテーテル36とガイドワイヤ38とがパウチ28に入れられ、カード29上に取り付けられる。カテーテルの端部32'、34'、36'は、形状維持パウチ33、35、37内に収納されている。加えて、カテーテルハブ32'', 34'', 36''と、取付カード29に切り込まれたスリットまたはスロット38が図示されている。この図示例では、形状維持パウチ33、35、37が描かれているが、形状維持パウチを必要としないカテーテルが本発明のマルチパ

ック・パッケージ内に包装される場合もあることを理解すべきである。チューブ40は、カード29の反対側にガイドワイヤ（この図には示されていない）を収容する。このチューブ40は、スロット位置と開口部61内で見ることができる。パウチ30は、ハブ42'とサイドアーム42''と止コック42'''とを有する導入シース42、及び拡張器44と導入ワイヤ46とを包含するトレイ41を含んでいる。無菌パウチ内に包装するための適正な医療用装置または医療用器具が本発明の範囲内に含まれるということを理解すべきである。

【0018】パッケージは、さらに余白部24と余白部26との間に位置している中間ゾーンすなわち中間部分48を有していること、かつ、ライン50に沿ってパッケージを引き裂くことによりパウチ28をパウチ30から分離する際に便利となるように、中間ゾーンすなわち中間部分48内にミシン目すなわち穿孔ライン50、またはこれと同様のものを含んでいることが好ましい。また、中間ゾーンすなわち中間部分48内に、開口部52、54が含まれていることが好ましい。それら開口部により、パウチ28またはパウチ30のいずれか単体で保管しても良いし、各パウチをつなげて保管することもできる。パウチ28、30は、いずれかのパウチを使用するために、またはいずれかのパウチに収納するために、ライン50に沿って分離することができる。そのパッケージは、パウチ同士を互いにつるすために、開口部52、54が並ぶように、ライン50に沿って折り畳むことができる。それらのパウチは、エチレンオキサイド（ethylen oxide）を使用するような従来の方法で無菌化されていること、および一方のパウチの開口部は他方のパウチの滅菌状態に支障を来さないことを理解すべきである。図1に示され、これらのパウチに収納された用具のいくつか（しかし全てである必要はない）も、本発明の範囲に包含されることを理解すべきである。

【0019】図2には、パウチ28の内容物がより明確に示されている。パウチは、取付カード29を備えており、該カードの一方の側にカテーテル32、34、36を取り付けられている。また、スリットすなわちスロット38内と開口部61内に入れるチューブ40の一部が図示されている。

【0020】図3には、ガイドワイヤ56を入れるチューブ40が取り付けられているカード29の他方の側が図示されている。そのガイドワイヤは、チューブなしで取り付けることが可能であるが、チューブをつけて使用することが好ましいことを理解すべきである。ガイドワイヤ56がついたチューブ40の組みは、タブ60とフリップ62とによりカード29に結びつけられている。また、少なくともガイドワイヤを有したチューブの部分を閉じるような大きさ及び形状とされるときに、チューブ／ガイドワイヤを所定の配置状態に維持しておく役割を果たすスリーブすなわちバンド31を含んでいるこ

とが好ましい。さらに、カードに取り付けられるチューブ／ガイドワイヤを所定の配置すなわち所定位置に維持するために使用されるクリップ58が含まれている。タブ60は、図4及び図5で最もよく分かるように、カード29に形成されていることが好ましい。そのタブ60は、カード29の複数の切込スリット59により形成され（図4）、各タブを曲げることで開口部61を形成している（図5）。図4には、曲げることでフラップ62を作り（図5）、開口部64を形成するスリット38が図示されている。チューブ40及びガイドワイヤ56は、少なくともタブ60の部分をチューブ及びガイドワイヤの上方に曲げることで、カード29に結合されている（図3）。各タブの端部は、テープや類似のものでカードにくくりつけられるようにすることもできる。加えて、チューブ及びガイドワイヤをしっかりと固定するために、またチューブまたはガイドワイヤを単体でしっかりと固定するために、チューブ／ガイドワイヤが開口部64内に位置し、フラップ62がチューブ／ガイドワイヤに対し押圧することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明のマルチパッケージの部分平面図である。

【図2】 図1の左側のパウチの拡大平面図である。

【図3】 ガイドワイヤが取り付けられたカードの下面図である。

【図4】 カテーテルを省いたカードの平面図である。

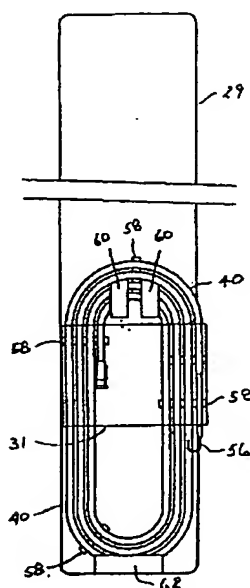
【図5】 ガイドワイヤを省いたカードの平面図であ

る。

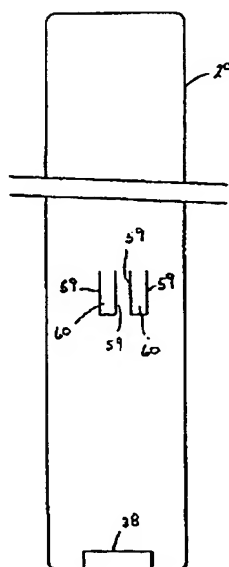
【符号の説明】

- 10 マルチパック医療用パッケージ
- 12 第一の層
- 14 第二の層
- 16, 18 長手方向エッジ
- 20, 22 交差方向エッジ
- 24 第一の余白部
- 26 第二の余白部
- 28 第一のパウチ
- 29 カード
- 30 第二のパウチ
- 31 バンド（スリーブ）
- 32 左冠状動脈カテーテル
- 34 右冠状動脈カテーテル
- 36 ビッグテイル・カテーテル
- 40 チューブ
- 42 導入シース
- 44 拡張器
- 46 導入ワイヤ
- 48 中間部分
- 52, 54, 61, 64 開口部
- 56 ガイドワイヤ
- 58 クリップ
- 60 タブ
- 62 フラップ

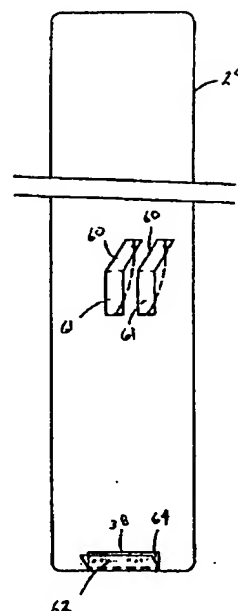
【図3】



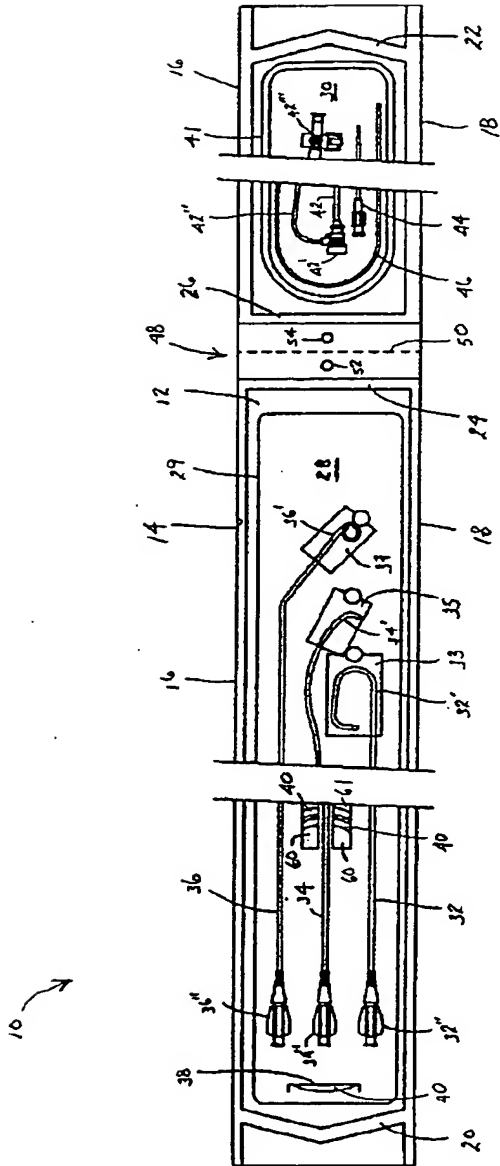
【図4】



【図5】



【图1】



【图2】

